

**社団法人 全国中央市場青果卸売協会**

**川田氏 提出資料**

## 青果物卸売市場流通をめぐる現状と課題

(社)全国中央市場青果卸売協会  
会長 川田 一光

### 1 青果物(野菜、果実)流通の中核を担う卸売市場

青果物の流通量の約7割が卸売市場経由(平成15年度)

なお、卸売市場での取扱いは、輸入ものも含め生鮮青果物が中心であり、ジュース類、冷凍・乾燥品の扱いはごく少量。

	青果物 (千t)	
	野菜	果実
総流通量	22,973	8,858
市場経由量	15,967	4,782
うち中央卸売市場	9,903	2,841
市場経由率	69.5%	54.0%
同中央卸売市場	43.1%	32.1%

注:流通量には、ジュース類、冷凍、乾燥品の生換算量を含む。

### 2 減少する青果物の消費と国内生産、大型化する出荷団体

#### ア 青果物でもジュース類は増加しているが、素材による消費が減少

野菜:平成元年度 110.6kg 平成16年度 92.9kg (一人当たり年間消費(純食料))

果実:平成元年度 39.2kg 平成16年度 41.5kg (同上)

#### イ 減少する青果物国内生産、増加する輸入。特に、近年は生鮮野菜の輸入が増加

単位:千t

	野菜		果実	
	国内生産	輸入	国内生産	輸入
平成元年度	16,146	1,527	5,210	2,641
平成16年度	12,286	3,051	3,457	5,353
16年度/元年度	76.1%	199.8%	66.4%	202.7%

#### ウ 青果物価格はほぼ横這い

年、時期による変動はあるが、農業物価指数は平成元年度と平成17年でほぼ横這い

	野菜	果実
平成元年度	84.9	75.3
平成17年	82.9	77.0

注:平成10年の指数を100とした指数

#### エ 大型化する出荷団体

単位農協の合併が進展、平成元年の3,791から平成18年7月には843農協に  
県単位の統合も進展、36都府県組織が全国農業協同組合(全農)と統合

### 3 ア 卸売市場の主要な機能

- ・品揃え機能(多種多様な品目の豊富な品揃え)
- ・集分荷・物流機能(大量単品目から、少量多品目への迅速・確実な分荷)
- ・価格形成機能(需給を反映した迅速かつ公正な評価による透明性の高い価格形成)
- ・決済機能(販売代金の迅速・確実な決済)等

#### イ 我が国青果卸売市場流通の特徴

- ・我が国の食文化を支える卸売市場

小売店頭に並ぶ百品目以上の生鮮青果物を毎日、安定的に供給  
(流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律の狙う物流方式を先取り)

- ・高いコストパフォーマンス

青果物小売価格構成(流通マージン)の日米比較を見ても、我が国の卸売市場は産直方式の米国より中間経費(流通段階)の割合が小さい。実額で比較しても大差がない。

また、産直方式の方が効率的とはいききれない。(第1回配布資料10頁参照)

農水省「日米流通マージン比較調査」(平成12年3月)

	生産者受取価額		中間経費		小売経費	
	円	%	円	%	円	%
レタス(1kg)日本	153	34%	65	15%	226	51%
レタス(1kg)米国	35	21%	47	28%	87	51%
りんご(1kg)日本	226	47%	98	21%	152	32%
りんご(1kg)米国	48	23%	75	36%	88	42%
トマト(1kg)日本	253	42%	114	19%	239	39%
トマト(1kg)米国	66	23%	75	26%	150	52%

注:1995年 - 1997年平均

- ・公的なチェックの下にあるオープンで安全な流通システム

卸売市場開設者が定める取引ルール及び日常的な指導監督の下で取引  
取引数量及び価格を毎日公表  
卸売市場衛生検査所による抜き取り衛生検査の実施(中央卸売市場)

#### 4 変化するニーズとこれへの対応

##### ア 量販店向け割合の一層の高まり

専門小売店が減り、量販店向け割合が一層高まっている  
量販店の個店の棚作りに間に合わせた納入等

##### イ 益々増加する業務・加工用需要

農林水産省農林水産政策研究所の分析によれば、野菜の家計(生鮮)消費は約43%、業務用需要は約41%、加工原料需要は約15%

##### ウ プリパック、業務用下ごしらえ等の増加

#### 5 青果物流通段階別価格

需給実勢に応じて決まる卸売価格(青果物)をもとに、生産者手取り、小売価格が幾らであった

かの一例(平成16年11月、りんご)を示せば、次の通り。

(kg当たり、単位:円)

小売段階 小売価格		仲卸段階 仲卸価格		卸売段階 卸売価格		集出荷段階 (運送料、梱包料、販 売管理費等)	生産者段階 生産者手取り
	仕入金額 との差		仕入金額 との差		実質卸売 手数料		
382		283		258			172
100%		74.1%		67.6%			45.0%
	99		25		8	80	
	25.9%		6.4%		2.1%	21.1%	

(平成16年食品流通段階別価格形成調査報告(農林水産省統計部)を加工)

## 6 卸売会社の経営ほか

ア 経費削減に務め、年々、売上高経費率は低下しているが、事業収益率も低下、利益率が低下

平成15年度の協会会員の売上高営業利益率は0.30%、当期純利益率は0.10%

平成16年度は、各々0.32%、0.19%

イ 電子化等への取り組み

系統出荷者等との間でASP方式によるEDI(仕切情報ほかの伝達)が普及  
出荷者との間の契約的取引の電子化にも取り組み

ICタグ実証試験等にも参加